

3学年通信

尾道市立高西中学校
3学年通信第26号
令和2年7月6日

自分との対話～じっくり書きひたっています～



最近の授業。考えを書く時間に文字を書く音だけが響く時間がうまれます。学習課題に対して、教科書と向き合い、自分の考えをじっくりと書いている真剣なまなざしのみなさんが創り出す静寂の時間です。

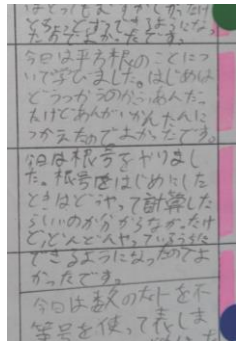
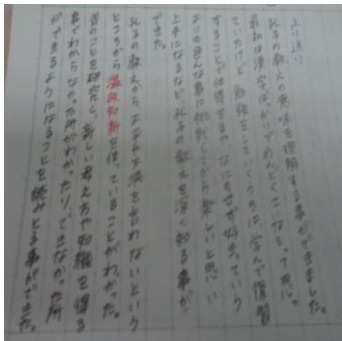
「書く」という行為は「自分との対話」だといわれてます。自分の考えや感情を文字化すること

で、頭や心の中にあるさまざまなものが具体化され、気づくことがあるからです。文章にすることで、「私はこんなことを考えていたのか」と自分が何を考えているのかが見えてきたり、「〇〇とは、こういうことだったのか」、「あの人が言いたかったのはこのことだったのか」などと発見できたりします。「書く」ことで、頭の中で考えていたことや心の中にあった形にならない思いがまとまってくるからです。その、「何か」に気づいた時がみなさんの視野が広がった時です。つまり、「書く」ことは、さまざまな思考を関連付け、思考を整理し、思考が明確になるだけでなく、新たな視点を発見することができるのです。

授業の最後の振り返りの時間も、文字を書く音だけが響く静寂の時間がうまれるようになりました。振り返りには学んだことだけでなく、「自分と向き合うことができた」、「自分につなげて考えることができた」など、学びを自分につなげたり、学びによる自分自身の変化を書いたりする内容が増えました。

みなさんが授業で書きひたる時間—それはみなさん自身の成長の時間です。

これから「書く」ことにこだわりをもって、書きひたっていきましょう。



勇気や希望を～高西中ラジオより～

今週の高西中ラジオは、生徒会長の守本くんから、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために工夫をしながら行われているプロ野球についてのお話から始まりました。

彼はその中で、みなさんへこのようなメッセージを伝えましたね。

無観客試合であるなど、まだまだ制限はありますが、スポーツは見ている人に勇気や希望を与えることができる素晴らしいものだとして今回の事態から改めて感じました。

高西中学校でも部活動が再開されました。部活動が始まったことで学校中も少し活気づいてきたかなと思います。

部活動を頑張るみなさん！みなさんが日頃頑張っている活動は、見ている人に勇気や希望を与えることができます。運動部だけでなく、文化部のみなさんも、部活動ができる幸せを1日1日かみしめながら活動してほしいなと思います。

新型コロナウイルス感染予防のため、高西中もこれまでのような活動ができません。しかし、彼はそのことを決してマイナスにとらえておらず、前向きにみなさんを引っ張る言葉をメッセージとして伝えました。彼の言葉にあるように、何かを頑張る姿は見ている人に勇気や希望を与えます。その一生懸命な姿から伝わる「何かに対する真剣な思い」は人の心を動かすからです。きっとみなさんも頑張る誰かの姿に「自分も頑張ろう」と思ったことはあることと思います。

守本くんの言葉がみなさんに届き、お互いに頑張る姿に刺激を受け合い、またそんな頑張る姿を地域に届けることができるみなさんであってほしいなと思いました。

今年度初の委員会がありました☆

今年度初の委員会。担当の先生と事前に打ち合わせて臨んだ委員長、副委員長のみなさん、よく頑張りましたね！中には「緊張してうまく言えなかった…」「思った通りにできなかった…」など悔しい思いをした人もいますが、それは向上心の表れととらえ、「次はどうすればいいかな」と次につないでいきましょう！本当によく頑張りました！！